

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
成人看護学	46 成人看護学概論	1	30	1年次後期	吉岡由里香

テキスト(発行所)	成人看護学概論(メディカ出版)、セルフマネジメント(メディカ出版)
テキスト以外の教材、参考図書	公衆衛生がみえる(メディックメディア)、国民衛生の動向(厚生労働統計協会)

学習のねらい	成人期の特徴及び健康課題や現代の成人に生じやすい健康問題が社会生活に及ぼす影響を理解する。 成人期における健康課題達成に向けた看護の役割について理解する。
学習目標	1.成人期が人の一生あるいはライフサイクルの中で、どのような時期にあるのか理解する。 2.成人期の各段階の身体的・精神的・社会的・霊的特徴について理解する。 3.成人期に起こりやすい健康問題と健康問題が社会生活に及ぼす影響を理解する。 4.成人期にある対象の健康課題達成及び健康を支援するための看護を理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	成人看護学講義概要 成人とは？	・ライフサイクルからみた成人期 ・ライフサイクルの区分 ・成人期の人とはどんな人？ ・次回のグループワーク説明	講義
2回	成人各期の四側面の特徴	・6～7名の編成にて、7グループにわかれる。 (青年期2G・壮年期3G・向老期2G) ・グループワークの発表は、以降の講義で行う。	講義
3回	青年期の特徴	・青年期とは ・青年期の四側面の特徴 ・青年期の特徴と健康問題、健康課題との関連	講義
4回	壮年期の特徴 向老期の特徴	・壮年期とは ・壮年期の四側面の特徴 ・壮年期の特徴と健康問題、健康課題との関連 ・向老期とは ・向老期の四側面の特徴 ・向老期の特徴と健康問題、健康課題との関連	講義
5回	人口静態	・総人口 ・年齢別人口 ・将来推計人口 ・世帯構成、世帯数	講義
6回	生命表と人口動態	・生命表 ・平均余命と平均寿命 ・出生 ・死亡 ・がん対策基本法	講義
7回	健康状態と受療状況	・国民の健康を表す指標 ・有訴者の状況・通院者の状況 ・受療状況 ・入院期間	講義
8回	ヘルスプロモーション	・ヘルスプロモーションの定義 ・ヘルスプロモーションの施策の変遷 ・わが国のヘルスプロモーション活動 ・予防の概念	講義

回数	主題	学習内容	履修形態 他
9回	生活習慣に関する健康障害	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病とは 生活習慣病の特徴 生活習慣病の発症要因 生活習慣と健康障害 	講義
10回	ストレスに関する健康障害	<ul style="list-style-type: none"> ストレスとは ストレス反応の過程 成人の生活ストレス ストレスと健康障害 ストレスコーピング 	講義
11回	労働に関する健康障害 疾患別対策と労働者の健康対策	<ul style="list-style-type: none"> 労働とは 労働者の健康障害の種類 ヘルスプロモーションと産業保健 トータルヘルスプロモーションプラン 主な疾患別対策 ワークライフバランス 	講義
12回	成人期にある人を看護するための 基本的な考え方①	<ul style="list-style-type: none"> 役割理論 自己決定 適応 障害受容 	講義
13回	成人期にある人を看護するための 基本的な考え方②	<ul style="list-style-type: none"> エンパワメント 	講義
14回	成人期にある人を看護するための 基本的な考え方③	<ul style="list-style-type: none"> 自己効力 	講義
15回	成人期にある人を看護するための 基本的な考え方④	<ul style="list-style-type: none"> アンドラゴジー セルフケア 	講義
単位認定 の方法	1.30時間のうち24時間以上の出席があること 2.評価の割合 筆記試験・・・・・・・・・・100点満点 3.認定の条件 1の内容を満たし、終講試験で60点以上であること		

受講上の アドバイス	<p>看護の対象は「人」であり、「人」を知らずして看護はできません。成人看護学概論ではまず、看護の対象である「人」を成人というライフステージに焦点をあて理解していきます。全ての専門分野Ⅱの最初の講義となる成人看護学概論で、人を深く理解することを学んでほしいと思います。そして皆さんも成人期である「人」であることを意識し、自分自身をみつめるきっかけになってほしいと思います。</p> <p>また、成人期にある人の健康は個人だけのものではなく、社会のものでもあります。成人期にある人が健康を害すると、それだけ社会に与える影響は大きいということです。個人生活に留まらず、わが国の社会全体の問題にも繋がっていきます。よって、疾病の予防・健康維持および増進を個人の努力や力だけでなく、国全体の問題として考えていく必要があります。</p> <p>よって、成人期にある人の特徴を踏まえた看護が実践できるための知識を持ち、広い視野で人々の健康と、健康を支援するために必要な看護の役割を考えられることを目指したいと思います。</p>
担当教員の 実務経験	病院での看護師としての実務経験あり